

- 2 新たな助成で保育士を確保
- 3 行政情報の発信を強化
- 4-5 特集 **また来たくなる街へ**  
～インバウンドへの取り組み～
- 6-8 街の話題/コラム/お知らせ



## 厚木のいたずらっ娘 全米に舞う

あつき 元気Wave

ケーブルTV4/1～

全米2位のダンスを紹介

全米制覇を目標に掲げ世界の舞台で躍動したIMPISHのメンバー



15人の一糸乱れぬダンスが全米の観客を魅了

「第2位、厚木高校「IMPISH」」。3月5日、フロリダ州・オーランドで開催された「NDA全米チアダンス選手権大会」で、厚木高校ダンスドリル部が見事、準グランプリに輝きました。

チアダンスの最高峰といわれる舞台に、12年ぶりに帰ってきたIMPISH。出場したのは、ジャズやヒップホップなどを織り交ぜて踊る「インターナショナル・チームパフォーマンス部門」です。優勝した同じ日本代表の福井商業高校に一步及びませんでしたが、「最高の演技ができたので悔いはない」と、メンバーたちは胸を張ります。

「いたずらっ子」を意味するIMPISHが初めて全米の地に立ったのは13年前のこと。日本の高校生が全米を制覇したニュースは、全国に「ダンスドリルブーム」を巻き起こしました。他のチームの実力が上がってきたことなどもあり、なかなか勝てない時期もありましたが、「来年こそは必ず」という強い思いが引き継がれ、夢の舞台への再出場を果たしました。

「グランプリを逃したのは残念だけど、ここまで来られたのは、一緒に頑張ってきた16人の仲間と、厳しくも温かく導いてくれた先生、支えてくれた先輩たちのおかげ」と部長の有馬菜摘さん(17)は振り返ります。自分たちが成し得なかった夢と、「来年こそは必ず」という彼女たちの思いは、後輩たちへ受け継がれていきます。

Zoom Up

待機児童対策に次なる一手

# 新たな助成で保育士を確保

市では、平成29年度を「保育所待機児童ゼロに向けた総仕上げの年」に位置付け、新たな取り組みを始めます。市民の方から受けた1億円の寄付を基に基金を創設。保育士の人材確保に向け、全国トップの補助額となる助成制度などを導入し、待機児童の解消につなげていきます。

市内の保育所待機児童は、直近の集計時点となる28年10月1日で155人を数えます。市では解消に向け、保育士の給与などの待遇改善に加え、保育施設の運営や建設、認定こども園の施設整備に補助を実施してきました。

本年度はさらに、保育士への助成を新たに開始します。背景にある課題は、児童の受け入れ枠拡大に対応できる保育士の確保。待遇が良い都内の保育施設が就職・転職先に選ばれる傾向があ

る中、市内の施設を職場として選んでもらえるよう働きやすい環境の整備を進めていきます。

## 県内初・全国トップの助成額

市では、県内初となる二つの助成制度を新設しました(左欄参照)。一つは、保育士資格の取得に奨学金を借りた方の返済を支援する「保育士奨学金返済助成金制度」です。条件を満たした保

育士に、全国トップの補助額となる年上限20万円を最長3年間助成します。もう一つは、市内私立保育施設に就職・勤務する常勤保育士が市内に転入する費用を支援する「保育士転入奨励助成金制度」。最大10万円を支給し、定住促進にもつなげます。

奨学金の助成制度の利用を検討する館田潤野さん(26・下荻野)は「月にすると2万円を超える返済は、1人暮らしの身には負担となるため本当に

助成金は、「厚木の子どものため」のために使ってほしい」と、ある市内在住の女性から受けた1億円の寄付金を基にしています。この大きな善意を受け、市では寄付者の名字を冠した「久保子ども未来応援基金」を創設し、助成制度を導入しました。今後、寄付者の思いに込められたさまざまな事業を検討、実施していきます。

## 善意の寄付で基金を創設

助成額も大きいので、厚木で働きたいという保育士も増えると思う」と声を弾ませます。

助成金は、「厚木の子どものため」のために使ってほしい」と、ある市内在住の女性から受けた1億円の寄付金を基にしています。この大きな善意を受け、市では寄付者の名字を冠した「久保子ども未来応援基金」を創設し、助成制度を導入しました。今後、寄付者の思いに込められたさまざまな事業を検討、実施していきます。

## 保育の受け皿をさらに拡大

市では、保育士の人材確保による受け入れ児童の拡大に加え、民間保育施設に対する支援も一層充実させます。新たな認可保育所や小規模保育施設、認定こども園の保育所機能の整備に補助金を交付。多様な保育ニーズに柔軟に対応するため、保育の受け皿のさらなる拡大に取り組んでいきます。

☎こども育成課 ☎225-2262



待機児童の解消に向け、保育士を支援し人材を確保



民間保育会が開く保育士向け就職相談会の開催を支援

◆保育士奨学金返済助成金制度 **県内初 全国トップ**  
 《対象》①採用後3年未満の市内私立保育施設の常勤保育士②奨学金を利用して資格を取得し返済中③市内在住  
 《助成》奨学金返済費用として年上限20万円、最長3年間  
 ◆保育士転入奨励助成金制度 **県内初**  
 《対象》①市内私立保育施設に就職する、または勤務している常勤保育士②市外から市内に転入  
 《助成》転入費用として最大10万円



## 学習や地域活動の拠点 厚木南公民館がオープン



生涯学習と地域活動の拠点となる厚木南公民館が4月1日にオープンします。スポーツや文化・芸術、サークルの活動などにご利用いただけます。

《所在地》旭町2-4-18

- 1階 事務室、図書室、保育室、授乳室
- 2階 調理実習室、会議室2室(1室は防音仕様)、集会室、和室
- 3階 体育室

※住民票など証明書類の発行は4月3日から開始します。  
 ※部屋の貸し出しは、市ホームページをご覧ください。

☎厚木南公民館・地区市民センター ☎228-0582

## 3億円の寄付をまちづくりに活用

市内在住の女性から頂いた寄付金は3億円を上り、平成24年、26年、28年の3回にわたり1億円ずつが寄せられました。活用方法はご本人の意向に沿い、これまでに市立病院の整備基金、経済的な理由で修学などが困難な生徒を対象とした「久保奨学金」に1億円ずつを活用しています。

### 久保奨学金基金に寄付を

「未来ある子どもたちが健やかに育ってほしい」。寄付者の願いがこもった奨学金制度をこれからも続けていくために、基金に対する皆さんからの寄付をお待ちしています。



子どもたちの修学意欲を応援

☎教育総務課 ☎225-2600

寄付については

あつぎ元気応援寄付金

検索



1日号 (1・6面)

- ① 題字を英字表記にし、全面フルカラーに
- ② 街の出来事やニュージーランドのホストタウンとしての取り組みを紹介するコーナーを新設
- ③ 人気コーナー「自然歳時記」を15日号から移設

## リニューアルのポイント

- ① お知らせ版として、より多くの情報を掲載
- ② 厚木の魅力を見つけ発信する読者参加型コーナー「あつぎのいいとコロ」がスタート
- ③ 活躍する市民を紹介する「熱気人」を拡大
- ④ 広告枠を増やして自主財源を確保

15日号 (1・8面)



※15日号は、イメージです

## Zoom Up

# 幅広い世代に分かりやすく 行政情報の発信を強化

行政情報をより分かりやすくお伝えするため、「広報あつぎ」を一新しました。さらに、本厚木駅構内にデジタルサイネージ（電子看板）を新設し、観光情報などを配信。より一層効果的な情報の発信に取り組んでいきます。

### 読みやすさを追求

市民の皆さんと必要な情報を共有することを目的に、市ではさまざまな情報を発信しています。内容は、市が進めるまちづくりから、市民生活に深く関わる制度、行政サービス、趣味や地域活動まで多岐にわたります。市ではそうした情報をより多くの皆さんにお届けするため、広報紙やホームページのほか、テレビ、ラジオ、デジタルサイネージなど多様な媒体を活用しています。

市民の皆さんに親しまれている「広報あつぎ」が、6年ぶりにリニューアルしました（左欄参照）。1日発行号と15日発行号の題字をそれぞれ一新。1日発行号は全面フルカラーとし、市の施策や市民活動などを視覚的に分かりやすく伝える「読み物版」として作成します。15日発行号は、全面2色刷りにし、催しや講座、募集記事など、情報の掲載数を優先した「お知らせ版」として作成。これまで以上に明確な差別化を図っています。

### 本厚木駅で情報を発信

を開始。今までなかなか取り上げられなかった街の出来事や、ニュージーランドのホストタウンとしての取り組み、厚木の魅力を発見する読者参加型のコーナーを設けて紹介していきます。広報あつぎは、自治会による戸別配布をはじめ、公共施設や銀行、コンビニなど、市内200カ所以上に配架しています。ホームページにも掲載しているほか、スマートフォンに無料アプリ「マイ広報紙」や、自治体広報紙配信サイト「マイ広報紙」でも電子版を配信するなど、あらゆる場面でご覧いただける環境を整えています。

広報紙のリニューアルと同時に、4月1日から本厚木駅構内にある市の連絡所「えきちよこ」に、デジタルサイネージを4台設置しました。電子データが表示できる55型モニターで、視聴者の視線に近い視認性の高さが特長。静止画や動画、文字情報が配信できます。駅を利用する1日15万人もの通勤・通学者をはじめ、増加が予想される海外からの来訪者などを対象に、

## 広報

# 写真コンクール

入選作品 決定

応募していただいた174点の写真から入賞作品が決定しました。地下道にあるロードギャラリーと市ホームページでご覧いただけます。

市長賞



「真っ赤なイチゴみつけた！」  
吉川翔太さん（温水）

神奈川新聞社賞



「真夏の夜の風物詩」  
町野正樹さん（相模原市）

厚木まち・ひと・しごと 地方創生賞



「しあわせ」  
平野君子さん（相模原市）

### 【審査員の講評】

厚木の魅力を伝える写真がそろった。今後は新たな魅力の発見につながる作品を期待したい。

### 【その他の受賞者】

入選＝小島典明さん（飯山）、山崎俊博さん（棚沢）、佐藤勝利さん（旭町）、山田フジ子さん（三田南）、吉久保和子さん（恩名）  
審査員奨励賞＝水津颯さん（旭町）、矢部なつみさん（妻田東）  
市民賞＝出利葉照雄さん（鳶尾）

## 多様なメディアを活用

観光情報やお知らせなどを配信し、市の魅力を伝えていきます。また、モニター2台は移動式のため、災害時には駅前広場などに設置し、被害状況や避難所情報を伝える掲示板としても活用していきます。

市では他にも、本厚木駅北口にある大型映像装置「あつぎビジョン」（下欄参照）での放送や横断幕の掲出により情報を提供。また、フェイスブックやツイッターなどのソーシャルネットワークワーキングサービスや動画投稿サイトも活用し、行政情報を配信しています。現代の技術とニーズに合わせた多様な媒体を駆使することで、今後も世代を問わず多くの皆さんに市の情報を発信していきます。



### 自社のPRを大画面で

## 「あつぎビジョン」広告募集

本厚木駅北口前に設置された約300インチのあつぎビジョンでは、企業からの広告を募集しています。

区分	1週	4週	26週	51週(年間)
映像広告	2万1000円	7万9800円	49万1400円	85万6800円
静止画広告	7000円	2万6600円	16万3800円	28万5600円
文字広告	6300円	2万3940円	14万7420円	25万7040円

※映像広告は、15秒CMを1時間に4回放映する場合。  
■ 放映時間 7時～22時（7時～8時、19時～22時は音声なし）

☎ 広報課 ☎ 225-2040

☎ 広報課 ☎ 225-2040



1 相模里神楽垣澤社からおじぎの仕方を学んだ外国人モニターたち 2 厚木でしか販売していない地酒を喜び、購入する人も 3 宿泊施設関係者やガイドボランティアなどが外国人への対応を学んだセミナー 4 社中の指導で立ち回りを体験。時代劇のような一幕を楽しんだ



英語表記を設けた市街地の案内板



# また来たくなる街へ

～インバウンドへの取り組み～

近年の訪日外国人の飛躍的な増加を受け、そうした人々や旅行を指す「インバウンド」に関連した事業が全国的に注目を集めています。市内でも「訪れてみたい」「また訪れてみたい」まちを目指した新たな取り組みが動き出しています。 図 観光振興課 ☎225-2820

「お辞儀をする時は、扇子を帯から引き出して右手で持って、自分の前に置きます」  
慣れない着物を身に付け、少し緊張した面持ちで所作を真似るのは、ドイツやイギリス国籍などの4人の外国人。飯山にある温泉旅館で2月、市外から外国籍の方を招いたモニターツアーが開催されました。市内の観光資源が外国人観光客に受け入れられるか、どのようなPRが効果的かを検討しよう、県と市観光協会、市が連携して開催したインバウンド事業の一環です。

## 伝統芸能や猪料理が好評

モニターとなった4人は、館内に展示されている郷土玩具や日本舞踊、市の登録無形文化財に指定されている相模里神楽垣澤社中による獅子舞の演舞を見学し、立ち回りや猪料理を体験しました。最後に実施された関係者たちの意見交換会では、「日本の伝統文化にじかに触れられる体験は魅力的」「踊りや立ち振る舞いなどは、動作にどのような意味があるのか説明が欲しい」「女将さんから開ける地域の歴史や伝統の話は多くの方が関心を持つと思うので、英語を学んでいる地元の学生に英訳してもらって、動画においてはどうか」「猪料理は珍しく、とてもおいしかった。自分で焼けるのもうれしい」など、活発に意見が交わされました。

別の日は、見頃を迎えた梅や酒造の見学、温泉入浴を体験するツアーも開催。それぞれのモニターから提出された意見を基に、今後、旅行会社などに市内の観光資源を巡るツアーの企画を提案していきます。

## 周辺自治体などと連携

平成25年には約1000万人だった訪日外国人旅行者は、わずか3年で倍の2000万人以上に急増。2年後にはラグビーワールドカップ、3年後には東京オリンピック、パラリンピックの開催が控えていることから、今後とも着実に増え続けると予想されます。

一方で、本市を訪れる外国人観光客はまだ少なく、温泉旅館にも受け入れの余地があります。加速するインバウンドの高まりをまことにぎわいや経済活性化につなげようと、市では県や周辺自治体、市内宿泊施設などさまざまな機関と連携し、外国人観光客誘致に向けた取り組みを始めています。

伊勢原市・秦野市とは、5言語に対応し大山の登山ルートや周辺の観光スポットを案内するアプリケーションを配信。外国人観光客を迎える心構えと知

## 外国籍市民に聞く あなたの国ってどんな国？

現在、外国人観光客の8割の方とは、中国語、韓国・朝鮮語、英語のいずれかで会話ができます。そこで、市内在住の中国・カナダ・韓国出身の方に、自国の特徴や文化の違い、簡単なあいさつを教えてくださいました。

各国の「こんにちは。お会いできてうれしいです」



**韓国** 鄭 珉珠さん(寿町)  
韓国では、日本旅行が女性に人気で、露天風呂に行きたいという人が多いです。日本への留学も増えています。食事は「医食同源」という考え方が基本で、香味料や野菜をたくさん使い、バランスの取れたものを食べて病気を予防します。

**カナダ** Tim St-Jeanさん(妻田)  
カナダの人々はとても社交的です。レジの店員などたまたま出会った人とも友達のようなあいさつを交わします。そのため、日本人の丁寧な対応や礼儀正しさは、時によそよそしく感じられるかもしれません。気軽に話しかけてもらえるとうれしいです。

**中国** 趙 凌雲さん(水引)  
中国では、食事は温かいものが好まれます。料理に油を多く使うので、冷めてしまうとおいしくないイメージなんです。また日本と違い、少し残るのがマナーです。中国語は、日本語とは漢字の発音や意味の違い、文法は英語に近いです。



5市町村で作成し駅などに配架している英語版の無料観光情報ガイド

識を学ぶ事業者向けセミナーの開催や、公衆WiFi(無線LAN)環境の整備なども進めています。その他、県内5市町村で丹沢・大山・宮ヶ瀬湖周辺を巡る観光情報誌の英語版を発行し、空港や都内の観光PRコーナーなどに配架して情報を発信しています。

## 市民に広がる取り組み

温泉旅館やホテルでも、昨年度7軒が館内客室の洋室化やWiFi環境整備に着手するなど、外国人旅行者の受け入れに対応する動きが見られています。七沢で温泉旅館を営む古根村龍二さん(40)は、7月に観光庁の補助金を活用し館内のトイレを洋式化。「外国人観光客の誘致は、宿の稼働率を上げる大きなチャンス。文化や言葉の違いなど越えなければならぬ壁はあるけれど



外国人への対応方法を話し合う観光ボランティアガイド協会のメンバー

## 時代やニーズに対応 選ばれる観光地への取り組み

■市観光振興計画の改定  
外国人観光客の受け入れや広域連携、情報発信の強化などを重点に、計画を改定

■新たな観光ルートの創出  
観光客誘致を地域振興につなげるため、地域ぐるみでツアーを企画・提案

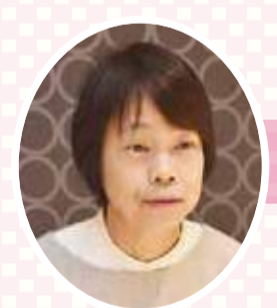
■他市町村との広域的な連携  
伊勢原市・秦野市と「平成大山講プロジェクト」に取り組むほか、5市町村で県央やまなみ地域を巡るスタンプラリーなどを開催



観光資源への意見を集めるため、温泉旅館などを巡るモニターツアーを開催

## 市民との触れ合いが何よりの満足に

松蔭大学 観光メディア文化学部 准教授 鷲尾 裕子さん(58)



厚木市は東京から富士山、京都を結ぶ、いわゆるゴールデンルート上にあり、立地に恵まれています。また、ニュージーランドのホストタウンになったことで、外国人観光客を誘致する時期として大きなチャンスを迎えています。まちの魅力が広がっていくことは、その魅力を守っていくことにつながるの、この機会に積極的に受け入れるべきだと思います。厚木には温泉や伝統芸能、味覚狩りなど、外国人に喜ばれる魅力がたくさんあるので、見せ方を工夫し、組み合わせで提案していくことが重要です。

厚木へ来る外国人観光客は、ほとんどが日本旅行のリピーターです。都心や大きな観光地では経験できない、日本のありのままの暮らしや地元の人の触れ合いを望んでいると考えられます。厚木市は、定住意向が約8割と高く、市民の皆さんが自分のまちを良いまちだと思っていることが分かります。地元愛にあふれる市民の皆さんとのコミュニケーションは、外国人観光客にとって何より大きな満足になります。言葉が伝わらないことを恐れず積極的に交流をしていただけたら、そうした取り組みが外国人から外国人に伝わり、また新しい厚木の魅力になっていくのだと思います。

## 積み重ねた努力をたたえて 世界や全国を舞台に活躍した人を表彰



曾田高治教育長から賞状を受け取る野口さん

野口裕斗さんは「世界のレベルを肌で感じるこ  
とができた。高校で  
は甲子園出場を目指  
したい」と抱負を語  
りました。

表彰式では、寄付  
やボランティアを通  
じて教育環境の整備  
や安全な地域づくり  
に貢献した8人と5  
団体に感謝状も贈り  
ました。

スポーツや文化の分野で優  
秀な成績を収めた個人や団体  
をたたえようと市教育委員会  
は、教育委員会表彰式を開催  
しました。表彰は年3回実施  
し、今回は51人と7団体を表彰しました。

野球の全米選手権大会「2016 M C Y S A イ  
ンターナショナルチャンピオンシップ大会」で優勝に  
貢献した南毛利中3年の野口裕斗さんは「世界のレ



## 美しく飾った花で癒やしを 花き農家がフラワーアレンジメントを贈呈



見頃の花束などを手に

日頃の花き振興へ  
のお礼と、地場産の  
花きをPRしようと、  
市園芸協会花き温  
室部会の皆さんが  
市長に花束や花鉢を  
贈呈しました。手塩  
にかけて育てたガー  
デンシクラメンやパ  
ラなど、見頃の花で  
作られたフラワーア  
レンジメントです。

部会長の内田博夫さん（68・写真左から2人目）は  
「花は心の栄養になるといわれています。多くの  
人を元気にできるように頑張ります」と意気込みを伝  
え、小林市長は「苦労もあると思いますが、これか  
ら癒やしを届けてください」とねぎらいました。

市内では、17軒の農家がバ  
ラなどの切り花や、花壇・野  
菜苗などを生産し、「夢未  
市」や「JAあつぎグリーン  
センター」で販売しています。

## 登山者の命を守れ

### 横浜市と山岳救助連携訓練を実施

「訓練で学  
んだことを  
他の隊員と  
共有し、今  
後の救助活  
動に生かし  
ていきたい  
」と力強く語  
りました。



負傷者を地上から機内へ救助

訓練は、県内の消防部隊の連携・応援体制の強化  
を目的に消防ヘリを持つ自治体と毎年実施。横浜市  
消防局との山岳救助訓練は初の試みで、ヘリが空中  
停止した状態で負傷者を運び込む、より実践的な訓  
練となりました。

訓練に参加した市消防本部の鈴木大樹さん（32）は

3月9日、山あいでの迅速な救助活動に  
つなげるため、市消防本部と横浜市消防局  
が七沢で山岳救助連携訓練を実施しまし  
た。山奥で発見された要救助者3人を消防  
ヘリで救助し、約6・5キロ離れた「ぼうさ  
いの丘公園」まで搬送するという内容です。

## 地域一体で目指せJ1昇格

### 湘南ベルマーレがホーム開幕戦に勝利



思いを一つに集ったホームタウンの首長ら

サッカーJ1リーグの  
J1昇格を目指す湘南  
ベルマーレが3月4  
日、Shonan B  
Mスタジアム平塚で  
開催されたホーム開幕  
戦を勝利で飾りまし  
た。この日はチームの  
ホームタウンである厚  
木市を含めた10市町の  
首長が集い、詰め掛け  
た約9千人のサポー  
ターと共に熱いエールを送りました。

試合前のキックオフセレモニーに参加した小林市  
長は「ホームで連勝してJ1昇格へ一気に駆け上が  
りましょう」とあいさつしました。

開幕戦は、全てのホームタウンの在住・  
在勤・在学者が特別料金で観戦できる「オー  
ルホームタウンデー」として開催。厚木市  
のホームタウンデーは、6月17日の京都サ  
ンガFC戦で実施されます。

## アツギ X NEW ZEALAND ホストタウン通信



あゆコロちゃんも現地で熱くPR

### ニュージーランド NZで厚木をPR

2月にNZ最大の都市  
オークランドで開催された  
「Japan Day 2017」に厚木  
市のブースを出展しまし  
た。催しは、NZで日本文  
化を広めようと、現地在  
住のオークランド日本人  
会が中心となって開催し  
、今年で16回目。市も厚  
木をPR

しようと、職員とあゆコロちゃんを派遣しました。  
会場は、約5万4千人が訪れ大盛況。東京五輪に向けた交流  
事業を紹介し、市内の観光資源や大学などをPRしました。ブ  
ースでは、NZで市の情報の発信役となる「ホストタウン交流事  
業サポーター」を受け付け、約250人の来場者に新たに登録し  
ていただきました。現地に住むサポーターに厚木の魅力をPR  
してもらうことで、厚木を身近に感じてもらい、より多くの人  
に訪れてもらえるよう、連携を深めていきます。

2020年東京オリンピック・パラリンピック（東京五輪）に向けて、ホスト  
タウンとなったニュージーランドとの交流事業を紹介します。



市長  
小林孝良



歓迎レセプションでNZの選手たちと

「東京五輪で、ニュージーランド  
(NZ) 女子ラグビーの事前キャン  
プを誘致したい」――。

国からNZを相手国としたホスト  
タウンの登録を受けて1年2カ月、  
ついにNZ女子7人制ラグビーの選  
手たちが厚木にやって来ました。  
合宿に訪れたのは、五輪出場を目  
指す育成チーム。そして今月は、リ  
オ五輪で銀メダルを獲得した代表チ  
ームがいよいよやって来ます。今回  
の

んとの出会いです。ホストタウン交  
流大使に就任していただいたピア  
スさんには、NZの大使館やラグ  
ビー協会との良好な関係づくり  
に力を発揮してもらっています。

スポーツにとどまらず、歴史や文  
化、食、教育などで着実に進んで  
いるホストタウン交流。五輪後のレ  
ガシーを築くためにも、「おもてなし  
の精神」で選手たちをお迎えした  
いと思っています。

合宿受け入れの成否  
は、3年後の事前  
キャンプ誘致に直結  
するといっても過言  
ではありません。  
NZとの交流は、  
さまざまな縁に恵ま  
れてスタートしまし  
た。その縁の一つが、  
市内在住で元ラグ  
ビーNZ代表のス  
コット・ピアースさ

# タウンガイド

4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

**マイタウンクラブ**  
 ①印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「①②」  
 と記されたものは、申し込みも  
 できます。  
 ③=申し込み ④=問い合わせ  
 ⑤=電話番号 ⑥=ファクス番号  
 ⑦=Eメール ⑧=市ホームページ

## 「夕焼け市」がスタート

毎週水曜(4月12日~10月25日)、17時~18時(9月以降は16時~17時)。荻野運動公園。市内産の農産物や加工食品などの販売。12日はオープニングフェアを開催。当日買い物をした方にオリジナルあゆコロちゃんエコバッグ(数量限定)をプレゼント。③農業政策課 ☎225-2801。

## アミューあつぎ ハンドメイドマルシェ

4月22日、10時~15時。アミューあつぎ。約20店舗によるアクセサリや洋服、雑貨などの手作り品の販売、ワークショップなど。③商業にぎわい課 ☎225-2834。

## 天覧所・高松山ハイキングと 5万本ツツジ観賞

5月1日、9時50分~14時。バス停「小野宮前」集合。観光ガイドと高松山ハイキングコースを歩く。定員50人。500円(資料代・保険料)。④4月22日までに東丹沢七沢観光案内所 ☎248-1102へ。先着順。①162887

## 親子チャレンジデイキャンプ ~たき火クッキング~

5月14日、10時~14時30分。七沢自然ふれあいセンター。まき集め、たき火クッキングなど。市内在住の親子・家族70人。1人1000円(食材・保険料)、3歳未満は44円(保険料)。③直接、電話またはファクスに催し名、〒住所、参加者全員の氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号を書き、4月23日までに七沢自然ふれあいセンター ☎248-3500・☎248-4708へ。抽選。①162756

## 春季親睦兼市長杯 グラウンド・ゴルフ大会

4月23日(雨天の場合は24日)、9時~16時。及川球技場。32ホールの男女別の個人戦。市内在住在勤在学のグラウンド・ゴルフ経験

者300人。600円。③ハガキに〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、4月7日(必着)までに〒243-0812妻田北2-17-21・長尾へ。③市グラウンド・ゴルフ協会・立石 ☎090-2318-2218。

## 介護予防教室

■からだいきいき運動教室  
 《Aコース》5月8日~7月31日の月曜(全12回、7月17日は除く)、10時~12時。東町スポーツセンター。①②162749  
 《Bコース》5月10日~7月26日の水曜(全12回)、10時~12時。南毛利スポーツセンター。①②162751  
 《Cコース》5月9日~7月25日の火曜(全12回、7月19日は水曜)、10時~12時。荻野運動公園。①②162752  
 《Dコース》5月8日~7月31日の月曜(全12回、7月17日は除く)、14時~16時。東町スポーツセンター。①②162750  
 いずれも市内在住で65歳以上の方30人。

■物忘れ予防・脳いきいき教室  
 《室内編》5月10日~7月26日の水曜(全12回)、14時~16時。ストレッチを取り入れた認知症予防。①②162754  
 《お出かけプログラム》5月23日~7月11日の火曜(全8回)、10時~12時。ウォーキングを取り入れた認知症予防。①②162755  
 いずれも会場はあつぎ市民交流プラザ。対象は市内在住で65歳以上の方25人。

■脳とからだのいきいき運動教室  
 5月11日~7月27日の木曜(全12回)、13時30分~15時30分。厚木YMCA。認知症予防プログラムを取り入れた運動。市内在住で65歳以上の方25人。①②162753  
 いずれも無料。③直接、電話またはハガキ、ファクスに教室・コース名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、4月17日(必着)までに〒243-8511介護福祉課 ☎225-2388・☎221-1640へ。抽選。要介護認定を受けている方はご相談ください。

## 応急手当普通救命講習会

4月15日、9時~12時。消防本部。心肺蘇生法、大出血時の止血法、

自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学中で中学生以上の方30人。無料。③4月10日までに救急救命課 ☎223-9365へ。抽選。①②162730

## 七沢キャンプカウンセラー トレーニング年間受講生募集

4月30日~(年14回、宿泊含む)。七沢自然ふれあいセンター。野外炊事や登山、ロープワークなどの技術習得研修やキャンプなどのセンターの自主事業への参加。市内在住在学の中学・高校・大学生の方。費用は研修内容により実費負担。③直接、七沢自然ふれあいセンター ☎248-3500へ。

## 文化芸術振興委員会の 委員を募集

文化芸術振興条例の運用状況の点検と文化芸術振興の推進に意見を頂く委員を募集します。

《対象》①市内在住在勤在学中で応募日現在18歳以上②平日の会議(年4回程度)に出席できる③他の附属機関などの委員でない④市の職員・議員でない⑤の全てを満たす方3人以上  
 《任期》6月から2年間  
 《報酬》日額7800円(交通費含む)。  
 ③文化生涯学習課にある申込書(☎からダウンロード可)に必要事項と応募動機(400字程度)を書き、直接または郵送、ファクス、Eメールで4月28日(必着)までに〒243-8511文化生涯学習課 ☎225-2508・☎225-3130・☎0350@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考あり。

## 七沢自然ふれあいセンター 夏休みの利用者を募集

夏休み期間中、施設で活動する団体を募集します。

《対象》成人の責任者が引率する厚木市・愛川町・清川村の団体(20人以上で構成)  
 《利用期間》7月21日~8月31日、日帰り~4泊5日(利用可能日は☎を参照)。  
 ③4月12日までに七沢自然ふれあいセンター ☎248-3500へ。抽選。

## ひとり親家庭などへの助成

■ひとり親家庭などへの児童就学祝金  
 《対象》子どもが小・中学校または高校(高等専門学校などを含む)に入学するひとり親家庭などで、4月1日現在市内在住の児童・生徒と同居し養育している方  
 《支給額》①小学校=1万円②中学校=1万3000円③高校など=1万5000円(③は合格通知書などの写しが必要)。申請期限は4月28日。

## 母子等福祉手当金

《対象》市内在住のひとり親家庭などで、義務教育終了前の児童と同居し養育している方  
 《支給月額》①小学校入学前の児童=1500円②小学生=2000円③中学生=3000円  
 《支給月》5・11月。

## ひとり親家庭への家賃助成

《対象》①市内在住のひとり親家庭で、平成11年4月2日以降に生まれた子どもと同居し養育している②毎月1~6万円の家賃を払っている③生活保護法の住宅扶助を受けていない④の全てを満たす方  
 《助成月額》1300円~1万円(8段階)  
 《支給月》8・12月、平成30年4月に前月分までを支給。所得制限あり。

母子等福祉手当と家賃助成は、前年度に申請している方も再度申請が必要。申請月から支給対象。いずれも申し込みは、申請書と必要書類を直接または郵送で〒243-8511子育て給付課 ☎225-2241へ。

## 中学校卒業後も継続入院している場合の医療費助成

助成対象の子どもが、中学校卒業から4月以降も継続して入院している場合、入院に係る健康保険適用医療費の自己負担額を助成します。③診療日から1年以内に子育て給付課 ☎225-2233へ。

## 本入れバッグの配布

小学校に入学した児童に、市立小学校を通じて本入れバッグを配布しています。私立小学校の場合は、中央図書館で配布しますのでお申し出ください。③中央図書館 ☎223-0033。

## 4月6日~15日は 春の全国交通安全運動

「新入学児童・園児を交通事故から守ろう」をスローガンに運動を実施します。交通安全について考え、ルールを守り交通事故防止に努めましょう。③交通安全課 ☎225-2760。

## みんなの声で つくるまち

《意見交換会》  
 ■(仮称)金田老人憩の家・児童館複合施設の設置  
 4月11日、19時~20時。環境センター。③当日直接会場へ。④介護福祉課 ☎225-2224。

■(仮称)学校給食センター整備計画  
 4月15日、10時~11時。市役所本庁舎。③当日直接会場へ。⑤学校給食課 ☎225-2668。

**ホット** インターネットモニターからの意見を紹介

**いメール** Hot E Mail

厚木市 インターネットモニター 検索

3月1日号「広報あつぎ」を読んで  
 ◆国際化が進む中、子どもたちがニュージーランドの方々と触れ合うのは良い取り組みだと思った/50代女性◆市民から多くの声を聴き、意見交換できる体制が整っていることに安心した/60代男性◆最近、自治会に加入している人が減っているように感じるので不安。加入促進に努めてほしい/30代女性◆空き家は行政の取り組みだけでは解決しない問題で、対策には地域の協力が不可欠だと分かった/40代男性

**編集後記** 特集の取材で訪ねた旅館で、フランス人観光客を迎えた時の話を伺いました。事前にあいさつを練習し、到着後も付きっきりだったと聞き、「大変でしたね」と言った私に、宿主は「このまちに来て良かったと思ってほしかったから」と笑顔。後日、フランスから感謝の手紙とワインが送られてきたそうです。その方の思い出に厚木がどんなふうにかまれたのか思いをはせると、とても温かい気持ちになりました/山崎

静岡県から浜松餃子がゲスト出店



神奈川県ご当地グルメの祭典  
**かながわ  
グルメ  
フェスタ  
2017**  
in 厚木



昨年グランプリの黒てるてラーメンが特別出展



厚木中央公園

**かながわグルメフェスタ**

県内外のご当地グルメ28店舗が一堂に会する食の祭典。あなたの一票で人気ナンバーワンを決定しよう。  
閩商業にぎわい課 ☎225-2840

**おいしい! たのしい!**  
**食と遊びが大集結**

**4月22日(土)・23日(日)**

普段なかなか食べられない食やなかなか会えないキャラクターとの触れ合いが楽しめる2日間。ご家族やお友達と、ぜひご来場ください。



**かなキャラ大集合! 2017**

厚木中央公園

**かなキャラ大集合!**

県内外から30のご当地キャラクターが集合。写真を撮ったり、グッズを買ったり、個性豊かなキャラクターたちとの触れ合いを楽しもう。  
閩観光振興課 ☎225-2448

浜松市からは、出世大名康くんと出世法師直虎ちゃんが登場





神崎隆広さん

数々のご当地キャラクターソングを手掛ける神崎さんがゲスト出演。重大発表があるかも…

自由が丘の人気店  
マジドウショコラが  
ゲスト出店



2017  
atsugi  
Sweets Land™

厚木公園

**あつぎスイーツランド**

食べておいしい、見て楽しい、絶品スイーツが大集結。どれを食べても笑顔がこぼれること間違いなし。  
閩商業にぎわい課 ☎225-2840

**自然歳時記**

● ジュウニヒトエ ●  
シソ科

「十二単」と書き、昔の女官の衣装に見立てたもの。雑木林や、やや明るい林縁に生える多年草。葉は対生し、1葉ほどで白紫色の唇形花を多数咲かせる／あつぎつつじの丘公園で見つけた。 写真・文/吉田文雄



タチツボスミレやアカネスミレ、カントウタンポポなど春の花が一斉に咲き、どこを見ても花盛りだ。遠くからヤマガラ甲高い鳴き声が近付いてきて、春らんまんのさまに心が躍る。柔らかな風が吹き、新緑の葉の揺れる方向を見ると、丘の斜面に草丈20センチほど

の白っぽい花が見えた。近付くと、あちこちにジュウニヒトエの花が咲いていた。  
清楚なこの花は日本固有種で、里山ではよく見掛けられるが最近では少ない。花が咲くまで目立たない希少な植物は、草刈り時に誤って刈らないよう注意が必要である。

<b>厚木市の人口</b> (3月1日現在)	<b>世帯数</b> 9万6732世帯 (前月比141世帯減)	<b>人口</b> 22万5132人 (前月比283人減) 男11万6252人・女10万8880人
---------------------------	---------------------------------	---